

ミモピア



卒業記念号

中村学園女子中学・高等学校
図書部発行

「かけがえのない日々」

校長 奥井 裕紀子

四四〇名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間、あるいは六年間、中村学園で過ごした日々を振り返りながら、毎日を過ごしていることと思います。

校長職という重責に就いた以上仕方がないことなのですが、教壇に立つことが少なくなった私にとって、生徒達と直接触れあう機会が減ってしまったことは、わかっていたこととはいえ、やはり一抹の寂しさを感じるものです。私は

その寂しさを埋め合わせる気持ちで、毎日、校舎のありとあらゆる場所で、皆さんに積極的に声をかけるようにしています。大きな声で返事をしてくれる生徒、明るい笑顔を向けてくれる生徒が、本当に沢山います。私にとってそれは本当に大きな喜びです。特に私が最後に教科を担当した三年生の皆さんは、いつもいつも元気な挨拶をしてくれました。本当にありがとう。私は皆さんの笑顔をいつまでも忘れずに、覚えておくつもり

です。

校長室の窓からは、運動場や体育館を見下ろす事ができます。私はよく窓際に寄り添い、皆さんの様子を眺めています。元気に登校してくる姿、体育の時間に賑やかに活動する姿、早朝や夕方に熱心に活動する部活生、皆さんの、弾けんばかりの、若さいっぱい姿を、眩しい気持ちで見つめています。こういった時を忘れるほじです。

皆さんの明るく元気な姿は、いつも私を幸福な気持ちにさせてくれます。「教えの庭にも、はや幾とせ」数日後に皆さんが歌う、「仰げば尊し」の一節が不意に心をよぎります。卒業生の皆さん、皆さんが、仲間と苦楽を共にした、豊かで、愛に満ちた、かけがえのない高校生活も、もう少して終わりを迎えます。きっと、感謝の気持ちを伝えるべき人がいるはず。必ずその気持ちを言葉にして卒業式を迎えてください。

みなさんが今手にしている、最後に読むであろう「ミモピア」には、三年生の先生方一人ひとりの

メッセージが綴られています。ひとつひとつを噛みしめて読んでください。そして、さよならは、そのいくつかをいつまでも覚えておいて、時に触れ思い起こしてください。それもまた、仰げば尊い、「我が師の恩」であるはず。最後に、私から皆さんに次の言葉を贈ります。

『乙女達よ、良き人生を！』



次のページからは
高校3年生担当の先生方から
「卒業生へ贈る言葉」、
「お薦めの一冊」を
お送りします♪



学年主任 倉岡 佳代子 先生

卒業おめでとうございます。これからたくさん新しい出会いが待っています。うれしいことも、時にはつまずくこともあることでしょう。全ての出会いに意味があると思っていて、その意味を見つけて自分の糧にできるような豊かな人生を送ってくれることを願っています。自分を大切に、周囲の人への思いやりと感謝を忘れず、社会の様々な立場や境遇の人たちにも思いを寄せる、そんな素敵な大人になって下さいね。

三年一組 上野 祥子 先生

お薦めの一冊 『シエイクスピア全集』



松岡 和子 訳
1998年に演出家・蜷川幸雄さんによって始まった、シエイクスピア全37作品を舞台化するプロジェクト。2月には35作目が上演されました。翻訳を務めるのが松岡和子さんです。37作完訳となれば女性初の快挙です。シエイクスピアの「ロミオとジュリエット」「ハムレット」など、古

典文学とは思えないようなわかりやすい訳で書いてあり、すらすらと読めます。25年以上かけてシエイクスピアの翻訳を手がけた松岡さんには様々な苦労があったそうです。ぜひ彼女の言葉から女性が働きながら生きることのヒントも探って欲しいです。中村を巣立つ皆さんに贈りたい本です。

三年二組 中村 和康 先生



卒業おめでとう。今から輝かしい未来がある君たちを羨ましく思います。私には未来はありません。夢に向かって先を見据えてよく考え努力することが大切だと、つくづく思うこの頃です。明日に向かって走れ！



三年三組 金田 好恵 先生

「他不是吾(他は是れ吾にあらず)」という言葉に最近出会いました。曹洞宗の開祖道元が、宋で修行した際にその地の老僧に投げかけられた言葉だそうです。「何事も自分で経験することによってその本質が見

えてくる。」「今自分の置かれた場所で、自分が為すべきことを主体的に行うことによって初めて自分の人生が自分のものになっていく」ということでしょうか。4月から新しいスタートを切る皆さん、どんな場所に身を置くことになっても、他でもない自分自身が日々為すべきことをやりきること、それぞれの道を切り拓いてくれることを心から願います。

三年四組 石川 敬洋 先生

私は、18歳で大学生活始めました。22歳で教員生活始めました。26歳で結婚生活始めました。27歳で育児を始めました。35歳でハンドボール始めました。37歳でギターを始めました。46歳で猫の世話を始めました。いつか終わりが来ることもありませんが、始めるのに「早い」「遅い」はない。

今やりたいこと、始めたいことを一生懸命にやりましょう。



三年五組 大石 有克 先生

Puisqu'on ne peut être universel et savoir tout ce qu'on peut savoir sur tout, il faut savoir un peu de tout. Car il est bien plus beau de savoir quelque chose de tout que de savoir tout d'une chose; cette universalité est la plus belle
—Pensées de Blaise Pascal

私の恩師が好んでいた『パンセ』の言葉です。

三年六組 篠原 良寛 先生

お薦めの一冊 『蒼穹の昴』 浅田 次郎 著
浅田次郎の歴史小説の中でも、スケールの大きなシリーズです。中国清朝末の皇帝をとりまく、さまざまな人々の思惑、国家間のやりとりなど、世界史、日本史に出てくる史実の裏側を作者ならではの

の想像力で描き出しています。興味を持った人は、この後『珍妃の井戸』『中原の虹』『マンチュリアンリポート』『天子蒙塵』と続きます。読み始めると止まりません。

三年七組 川上達也 先生

お薦めの一冊

『最後の授業』

アルフォンス・ドーテ 著

南本史 訳

この物語は戦争に負けて、次の日からフランス領からドイツ領になってしまうアルザス地方での学校の話です。そこではフランス語で行われる最後の授業が展開されています。一見するとすごく寂しい話ですが、実はもともとこの地域ではフランス語は話されていませんでした。それを踏まえると、急にこの作品が意図的に書かれたもののように思えます。ドーテは何のためにこの作品を書いたのか。そして皆が何気なく使っている言語が、国家からしたらどのような意味を持つのか。これからも勉強をしていく皆さんにとって役立つ視点だと思いま

す。とても短い物語なので是非読んで、考えてみてください。

三年七組 黒岩太 先生

お薦めの一冊

『笑いの力』で人生はうまくいく

植西聰 著

マザー・テレサが「笑顔には想像できないほどの可能性がある」という言葉を残しています。仕事や試験がうまくいかなかったときに落ち込んでしまうことは誰にでもありますよね。そんな時、一番有効な気分転換は何でしょう。それは誰にでもできること、「笑う」ことです。笑いの力で人生がうまくいくと良いと思いませんか？

三年八組 中村寛幸 先生

高校三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

進学する人、就職して一足先に社会人となる人。進路は様々ですが、この三年間で培ったものを大切に、努力を続けて下さい。いろいろな場面での活躍を祈念しています。

三年九組 柿木悠輔 先生

みなさん、働きアリの法則を知っていますか？いつもせかせかと働いているように見える働きアリも、おおよそ2（よく働く）：6（普通に働かれている）という法則です。集団の中ではこの法則がほぼ成り立つと言われています。この法則のおもしろいところは、良く働く2割を集めても、その集団で再び2：6：2に分かれるということです。逆もまた同様です。

今あなたたちはクラスという集団の中にいて、もう既に2：6：2に分かれています。しかし、卒業すれば新しい集団の中に飛び込んで行くことになり、またその中で2：6：2に分かれていくことでしょう。今はさぼっている2の中に入っていたとしても、次の集団ではどうなるかはわかりません。今年卒業していくあなたたちが、よく働く2や、6の中に入り活躍していくことを願っています。卒業おめでとう。

三年十組 佐多万鈴 先生

お薦めの一冊

『モモ』

ミヒヤエル・エンデ 著

どの学校の図書館にも必ずあるので、読んだことがある人も多いと思います。この本は主に「時間とは」「幸せとは」について書かれています。これから様々な人生を歩む卒業生は、高校までと違い、日々過ごすのかを自分で決めていくことになります。今、私たちのいる社会はとにかく効率至上主義で、「時間のかかること」「無駄なこと」は悪であるとされています。この考え方はとても自然に、学校や職場などの至る所にあり、これから気がつかないうちにみなさんを蝕んでくるでしょう。しかし、みなさんの生き方、日々の行動の全てが、その尺度で測られて良いものでしょうか。「時間のかかること」「無駄」を排除した人生は果たして幸せなものでしょうか。この本の登場人物の一人一人が、それぞれの人生の「無駄」の中から幸せポイントを教えてくれます。児童書ではありますが、大人になるみ



なさんにこそぜひ読んで欲しい一冊です。そして、ぜひ素敵な「無駄」のある幸せな人生を送ってください。



三年十一組 永石光論 先生

「やればできる」

可能性は無限大、どこまでも挑戦してください。

三年十二組 中村麻美 先生

高校3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした中村学園での思い出は私にとっても宝物です。卒業して今後の人生を歩んでいくうえで、ぜひ皆さんには自分も周りの人も幸せにできる人になってもらいたいです。そのためにも、何に対しても「感謝」の気持ちを持つようにはじめてみてください。そしてこれからあるたくさん「出会い」を大切にしてください。人生で起こることはどんなことにも意味があります。皆さんの活躍を心からお祈りしています。



三年十三組 中垣内啓太 先生

「ご卒業おめでとうございます。」

今後いろいろなきっかけがあると思います。挑戦しても逃げてみ誰かに頼っても構いません。自分を大事にして生きて下さい。

慶田喜彦 先生

「ご卒業おめでとうございます。」英語を通して、皆さんと一緒に充実した一年を過ごさせていただきました。有難う。

これからも、自分の可能性を信じて、力強く人生を切り開いてください。一人一人の夢の実現を祈っています。

手島翼 先生

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。長いようで短い3年間であったと思います。

皆さんが高校生活で身につけた知識や体験は、将来、社会人となったときに役立つことがきっとあるはずです。

これからも常に向上心を忘れず、目標を持って頑張ってください。



堀川 富美子 先生

「ご卒業おめでとうございます。」

“努力の上に花が咲く。”これからも、感恩の気持ちを持ち、笑顔を忘れず、何事も粘り強く挑戦していきましょう。みなさんの幸せを心よりお祈りいたします。

平田晃己 先生

卒業おめでとうございます。直接には1組の人たちには関わっていませんが、1組ではいつも楽しく授業をさせてもらいました。ありがとうございました。

これからは、それぞれの選んだ道を進んでいくと思いますが、楽しく一緒に過ごした仲間や学校のことを忘れずに、夢や目標に向かって日々努力を続けてください。ずっと応援しています。

佐藤 みどり 先生

「読書」は最高の「心の旅」

「読書」について論じる際、「読書」をすれば読解力がつく、語彙が豊富になる、といった「読書の効果」がストレートに求められが



ちです。しかし私は、「読書」の最大の魅力は空間を超え、時代を超え、性別や生物学的な種を超え、さまざまなものに「思いをさせる」ことができる点だと思っています。そういう意味では読書は最高の「心の旅」といえるのではないのでしょうか。みなさんがこれから「自分にとっての最高の一冊」に出会えることをお祈りします。卒業おめでとうございます。

☆ 編集後記 ☆

「ご卒業おめでとうございます。」夢や目標に向かって、一歩一歩進んでください。今回紹介された本や贈られた言葉は、みなさんの歩みを後押ししてくれるものだと思います。この先も、みなさんの心を彩る本や言葉との出会いがあることを祈っています。

最後に、原稿にご協力いただいた先生方、ありがとうございました。

編集 中村学園女子

中学・高等学校 図書部

発行日 令和二年三月三日

